

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮崇	法人・ 事業所 の特徴	自分や家族・友人が利用したいと思うサービスを提供します。 通所・宿泊・訪問この3つを自由にその方にとって必要な支援を組み合わせ、その時の体調や状況によって柔軟なサービスを提供しています
事業所名	小規模多機能型居宅 介護アネックス関原	管理者	松田 悠一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	1人	人	2人	人	10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	継続して情報共有は連絡帳を活用する。定期的にミーティングを行い事業所自己評価についてスタッフの意見が反映できるように情報共有や意見交換を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者やご家族の変化に対しては、その都度、職員の連絡帳に記入し情報共有を行った。 事業所自己評価の意見の反映については、今年度は改善計画に取り組み為の係を作り、係の職員を中心に意見の反映や取り組みを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 係や担当を付け、職員主体の中で、問題意識を持ち、意見の反映や取り組みを行えたことは、工夫が見られたのではないかとと思う。 連絡帳を活用し、情報の記録化と共有化を図る取り組みは今後も継続して行っていただけたらと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 係や担当を付けた取り組みは継続して問題意識を持ったり、意見を反映できるようにしていく。 小規模協議会が示しているライフサポートワークや外部評価の勉強会を行い、全スタッフで共有する。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の顔でもある玄関やテラスを季節感ある入りやすい環境整備に努める。	園芸が得意な職員を中心に事業所の入口の環境整備を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の入口には、季節を感じられる花や山菜を日干している様子がみられ、計画を意識した対応を行っていることが感じられた。 訪問しやすく、温かい雰囲気の環境整備がされていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備の年間計画を立て、年間を通じて季節を感じられるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との関わり広報委員を選出する。定期的に情報発信の広報誌を地域に配布する。地域のクリーン作戦へ参加する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域との関わり、広報委員は選出したが、コロナ禍で地域との関わりについては取り組めていない。広報誌に関しては地域向けには今後、発信予定で今ご利用者、ご家族向けに広報誌を発行している。 クリーン作戦や花いっぱい運動には管理者を中心に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 園内外の他の事業所の取り組みを参考としたり、地域の特性などを活かし、地域の方が回覧版などを止めて見たくなるような興味をひく内容の物を、利用している方だけではなく地域の方にも届けられる様に実施を期待。 花いっぱい運動など、ご利用者も可能な範囲で参加していただくことも地域とのかかわりになると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 係を決め、地域向けの広報誌の発行を行う。 参加できるご利用者と一緒にクリーン作戦や花いっぱい運動に参加する。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>運営推進会議を利用して地域の情報収集を行う。地域の茶の間をいつでも再開できるように準備を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対面での運営推進会議の開催が1度のみで情報収集はできていない。(書面開催でも情報収集できる取組みが必要) ・地域の茶の間に関してはコロナ禍もあり、開催が難しい為に準備はしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降は①コロナが収束した場合の計画。②コロナが収束しなかった場合の計画を立てて取り組みを行うとより評価しやすくなることと思う。 ・運営推進会議の場意外にも、民生委員さんや町内会長さん、近隣住民の方々と連携していく中で、地域のイベント情報を収集する方法もあるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶会やサークル活動などの社会資源一覧を作る。 ・コロナが収束した場合はお茶会やサークル活動へ参加する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議の資料を分かりやすく写真を入れる等の工夫を行い事業所の取組み内容が伝わるようにする。</p>	<p>写真は入っていないが、昨年度よりも研修の内容や事故、ヒヤリハットなどを伝わりやすいように会議の資料を工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の内容も、記載項目が多く事業所の実情がわかりやすく改善されている。集合形式で行えないことも多く、今後も配布資料の内容を工夫し取り組んでもらいたい。 ・作品の写真でもいいので拝見できると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に必要な支援について検討する事によって地域の課題をみつけ情報共有する。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>地域の防災訓練に参加する。地域の方を交えた避難訓練を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の避難訓練に参加したが、コロナ禍の為、班の集合所に集合するのみだった。 ・避難訓練はコロナ禍で事業所の職員のみで行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練について、いざという時、適切な行動がとれるよう引き続き対策をお願いしたい。地域の方との連携も重要なので、地域で行われている訓練にはご参加いただけるようお願いしたい。 また、避難訓練の際は、可能な範囲でご利用者の参加をいただけると良いと思います。動線の見直しや危険箇所(物品の置き場所など)が新たに発見できるかも知れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の避難訓練への参加の継続 ・福祉避難所としての地域への周知